



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 フランスベッドホールディングス株式会社  
コード番号 7840 URL <http://www.francebed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務経理グループ担当  
四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

(氏名) 池田 茂  
(氏名) 星川 光太郎

TEL 03-6741-5501

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,124	0.9	1,116	75.2	1,088	89.9	237	△9.9
23年3月期第3四半期	35,784	△4.2	637	△11.0	573	△11.5	263	△33.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 253百万円 (38.2%) 23年3月期第3四半期 183百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1.05	—
23年3月期第3四半期	1.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	59,019	36,096	61.1
23年3月期	60,739	36,958	60.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 36,096百万円 23年3月期 36,958百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.25	—	1.25	2.50
24年3月期	—	1.25	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.25	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,180	1.7	1,590	167.5	1,440	163.8	690	193.2	3.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	239,487,500 株	23年3月期	239,487,500 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	16,498,741 株	23年3月期	11,581,430 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	225,995,148 株	23年3月期3Q	227,909,570 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（以下「当期」という。）におけるわが国経済は、欧州の金融不安の深刻化による世界経済の減速懸念や、円高の長期化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループの中核子会社であるフランスベッド株式会社においては、平成23年4月から、これまでのメディカルサービス事業本部、インテリア健康事業本部及び法人施設事業本部の3事業本部を統合し、一本化した体制とした上で、成長分野であるメディカルサービス事業に経営資源を投下し収益の拡大を図るとともに、インテリア健康事業においては構造改革の継続と高付加価値商品の拡販などにより収益性を改善させるなど、統合効果のさらなる発現を目指してまいりました。

また、前期に立ち上げたアクティブシニア向け新ブランド「リハテック」につきましては、主に活動的なシニア層に向けた「電動アシスト三輪自転車」や電動車いす「ちょいぱる♪」などのほかに、平成23年9月には車いすのブレーキのかけ忘れによる事故を防ぐ効果がある自動ブレーキ付車いす「SAFETY（セーフティ）オレンジ」を投入し、拡販に努めました。

このような状況のもと、当社グループの当期における業績は、売上高は36,124百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益は1,116百万円（前年同四半期比75.2%増）、経常利益は1,088百万円（前年同四半期比89.9%増）となりました。また、四半期純利益は、平成23年12月2日に法人税率引き下げに関連する法律が公布されたことに伴い、当期において繰延税金資産222百万円を取崩し、法人税等調整額に計上したことなどにより、237百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ① メディカルサービス事業

メディカルサービス事業においては、介護保険の給付額が増加している福祉用具貸与市場に対して、営業拠点を4箇所新設（東京都杉並区、岡山県倉敷市、横浜市港北区、群馬県館林市）してレンタル売上の更なる拡大を図るとともに、スプリングの寝心地と介護ベッドに求められる薄さを両立した、業界初の介護用高密度連続スプリング使用の在宅介護用マットレス「SM-12」や「リハテック」ブランドの新商品について、介護支援専門員や代理店を対象に研修会や商品説明会を開催して、これらの商品のレンタル及び販売取引の拡大、顧客数の増加に努めてまいりました。「リハテック」ブランドの中でも自動ブレーキ付車いす「SAFETY（セーフティ）オレンジ」は臨床データに基づく研究開発を行った商品として、多くの反響を呼び、様々な媒体に取り上げられました。

また、設備投資が増加傾向にある病院や福祉施設等に対しましては、当期より営業拠点及び営業員を増加させ、物件取引の受注獲得に注力いたしました。

さらに、最先端の医療技術と現代のリハビリが融合した、対象筋に電気刺激を与えて筋肉を活性化させるリハビリテーションシステム「バイオネス」の医療機関向け営業を促進するとともに、代理店向け説明会を開催して新規取引の増加に努めました。

以上の結果、メディカルサービス事業の売上高は19,331百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は1,123百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

## ② インテリア健康事業

インテリア健康事業においては、長引く景気低迷から消費者の低価格志向、節約志向が恒常化し、また回復傾向にあった新設住宅着工戸数が減少に転じるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、主力商品である「ライフトリートメントマットレス」シリーズや、世界有数のベッドブランドである「スランバーランド」シリーズなどの、中・高級ベッドの拡販を図るとともに、医療や介護の分野で培った技術やノウハウを活かした、新電動リクライニングベッド「プレオックス」シリーズを発売するなど、付加価値の高い商品の販売促進に努めました。

また、「リハテック」ブランドの商品である電動アシスト三輪自転車を家具店等の店頭で試乗販売会を行うなど、本格的な高齢社会に向けての商品の投入、拡販に努めてまいりました。

さらに、物流体制の見直しの一環として、東日本地区において、外部より賃借していた大型倉庫を解約し、物流コストの引き下げを図るなど、引き続き構造改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、インテリア健康事業の売上高は13,997百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業損失は51百万円（前年同四半期は営業損失392百万円）となりました。

③ その他

その他の事業の日用品雑貨販売事業においては、取扱商品の見直しや不採算店舗の撤退などを行い、収益の改善を進めてまいりました。また、東日本大震災で被災した店舗も一部を除いて営業を再開し、復興需要と相まって、順調に回復してきております。

また、戸別訪問販売事業においては、特定商取引法や割賦販売法の規制強化の影響による売上高の減少が続いていることから、営業拠点の統廃合や費用の削減を継続して実施するとともに、会員数が減少している予約前受金事業（友の会事業）の見直しを図りました。

以上の結果、その他の売上高は2,795百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益は35百万円（前年同四半期は営業損失57百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）と比較して1,720百万円減少し59,019百万円となりました。流動資産は前期末と比較して557百万円減少し32,602百万円となりました。主な要因は、余裕資金運用による有価証券3,999百万円などの増加に対し、現金及び預金4,620百万円などの減少によるものであります。固定資産は前期末と比較して1,145百万円減少し26,387百万円となりました。主な要因は、1年基準（ワンイヤールール）適用となる定期預金の流動資産への振替などによるものであります。

(負債)

負債は、前期末と比較して858百万円減少し22,922百万円となりました。主な要因は、ファクタリング未払金の減少235百万円、1年内償還予定の社債387百万円、および1年内返済予定の長期借入金112百万円などの減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して861百万円減少して、36,096百万円となりました。主な要因は、四半期純利益237百万円などによる増加、自己株式の取得549百万円、配当金の支払565百万円による減少などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前期末の60.8%から61.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付「平成23年3月期決算短信」にて公表した業績予想につきましては変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,942	7,321
受取手形及び売掛金	9,398	9,416
有価証券	1,999	5,998
商品及び製品	5,623	5,849
仕掛品	283	345
原材料及び貯蔵品	1,637	1,687
その他	2,338	2,027
貸倒引当金	△63	△44
流動資産合計	33,159	32,602
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,413	6,413
その他(純額)	10,037	9,877
有形固定資産合計	16,451	16,290
無形固定資産	1,392	1,178
投資その他の資産	9,688	8,918
固定資産合計	27,532	26,387
繰延資産	47	29
資産合計	60,739	59,019
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,007	3,940
ファクタリング未払金	2,138	1,902
短期借入金	2,125	2,125
1年内償還予定の社債	775	387
1年内返済予定の長期借入金	225	112
未払法人税等	157	96
引当金	1,163	576
その他	3,727	4,028
流動負債合計	14,319	13,169
固定負債		
社債	3,150	3,150
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	2,348	2,541
その他の引当金	427	446
資産除去債務	—	24
その他	1,536	1,591
固定負債合計	9,462	9,753
負債合計	23,781	22,922

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	5,116	5,116
利益剰余金	32,182	31,854
自己株式	△3,152	△3,701
株主資本合計	37,146	36,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△166	△112
繰延ヘッジ損益	16	△9
為替換算調整勘定	△38	△49
その他の包括利益累計額合計	△188	△172
純資産合計	36,958	36,096
負債純資産合計	60,739	59,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	35,784	36,124
売上原価	19,648	19,735
売上総利益	16,136	16,388
販売費及び一般管理費	15,499	15,272
営業利益	637	1,116
営業外収益		
受取利息	9	12
受取配当金	19	19
その他	113	105
営業外収益合計	142	138
営業外費用		
支払利息	96	80
その他	109	85
営業外費用合計	206	165
経常利益	573	1,088
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	12	—
特別利益合計	13	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	38	9
災害による損失	—	21
関係会社清算損	—	17
本社移転費用	—	149
前期損益修正損	0	—
その他	—	1
特別損失合計	38	200
税金等調整前四半期純利益	548	888
法人税、住民税及び事業税	85	80
法人税等調整額	199	570
法人税等合計	284	651
少数株主損益調整前四半期純利益	263	237
四半期純利益	263	237

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	263	237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	53
繰延ヘッジ損益	△23	△26
為替換算調整勘定	△7	△10
その他の包括利益合計	△80	15
四半期包括利益	183	253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	253
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	18,229	14,596	32,826	2,958	35,784	—	35,784
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26	388	415	310	726	△726	—
計	18,255	14,985	33,241	3,268	36,510	△726	35,784
セグメント利益 又は損失 (△)	1,007	△392	615	△57	558	78	637

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	19,331	13,997	33,328	2,795	36,124	—	36,124
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	384	387	64	452	△452	—
計	19,334	14,382	33,716	2,860	36,576	△452	36,124
セグメント利益 又は損失 (△)	1,123	△51	1,072	35	1,107	9	1,116

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、戸別訪問販売、日用品雑貨販売、展示会設営及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。  
セグメント利益

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	560	541
全社費用※	△481	△531
合計	78	9

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

(1) 報告セグメントの変更

第1四半期連結会計期間から、中核子会社であるフランスベッド株式会社の組織改正に伴い、報告セグメントを「メディカルサービス」、「インテリア健康」及び「法人施設」の3つから、「メディカルサービス」及び「インテリア健康」の2つに変更しております。

(2) 事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更

第1四半期連結会計期間から、セグメント利益又は損失の算定に用いる全社共通費の配賦方法について、セグメントの事業をより適正に評価管理するための見直しを行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

当社及び連結子会社の本社移転に伴い、将来の使用見込が定まっていない資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。報告セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	メディカルサービス	インテリア健康	その他	全社・消去	計
減損損失（注）	11	15	4	3	35

(注) 特別損失「本社移転費用」に含めて表示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。